

1 ◆Track4

2
3 あっ…、お待ちしていました。今夜もご足労いただき、ありがとうございます…。

4
5 んっ…ふう…♡

6
7 あ、すみません、大丈夫です…。

8
9 ただ、私の身体の発情が、高まってきてしまっているみたいで…。

10
11 え…、もしかしたら会わない方が…って、それはダメです…！

12
13 あなた様と会えなくなったら、私…。

14
15 うう…、そうです…！

16
17 もっと、あなた様を身体で直接感じられたら、発情も収まってくれるかもしれない
18
19 せん…。

20
21 あなた様の精液…、濃くて熱いのを、もっと直接感じられれば、きっと…。

22
23 私、本でお見かけしたんです…。その…フェラチオ…って、言うんですよね…。

24
25 おちんちんをお口で咥えて、精液をお恵みいただけるように、おちんちんを扱い
26
27 てご奉仕する行為…♡

28
29 あなた様に抵抗がなければ、ぜひ試させてほしいのですが、いかがでしょうか
30
31 …？

32
33 はしたないお願いで申し訳ありません…。

34
35 でも、あなた様のおちんちんと精液の味、どんな感じなんだろうって…、どうし
36
37 ても気になってしまうのです…。

38
39 んっ…、ありがとうございます…♡

40
41 それではまず、あなた様のおちんちん、準備してあげないと、ですね…。

42
43 んっ…、昨日、とても気持ちよさそうにしていましたので、お耳、失礼します
44
45 …。服の上から、おちんちんも失礼して…。

35 んっ…、れろれろ…ちゅっ…れろ…ちゅっ、ちゅう…、んれろれろれろ…、れろ
36 れろ…れろお…♡

37
38 んっ…今日もお耳がぷっくり、気持ちよさそうですね…♡

39 おちんちんもこんな感じで、舐めればよいのでしょうか…。

40 お耳でフェラチオの予行練習、ですね…♡

41
42 んっ…、れろ、れろれろ…、ちゅっ、ちゅっ…んっ、先っぽ、舐めまわすみたい
43 に…、れろれろ…れろれろれろ…んれえろれろれろ…、んちゅっ、ちゅっ…♡

44
45 んっ…、おちんちん、準備できてきたみたいです…。

46
47 服の上からでも、熱くなってきたきているの、伝わりますよ…。んっ…、早くみたい
48 です、おちんちん…、よろしいですか…？

49
50 あっ…、んっ…、おちんちん、私の目の前で脈打って…♡

51 んっ…ふう…、あなた様の雄の匂い…、感じてしまいます…♡

52
53 んっ…すう…、んっ…はあ…♡

54
55 あっ…、すみません、思わず匂いを…、とてもはしたないことをしてしまいまし
56 た…。

57 でも、それだけあなた様のおちんちんを、私の本能が求めている、ということだ
58 すね…。

59 んっ…、舐めても、よろしいでしょうか…。あなた様のおちんちんに、お口で「
60 奉仕、したいです…♡

61
62 んっ…はあ…、それでは、失礼します…。

63
64 んっ…ちゅっ…、れろ…、ちゅっ…♡

65
66 先っぽ…、ご挨拶してしまいました…♡

67 ほのかにしょっぱいような…、これは…？

68

69 んっ…、ちゅっ…、れろれろ…れろれろれろお…、れろれろ…、んれえろれろ…
70 れろれろれえ…、れろれろれろお…、んっ…ちゅっ…♡

71
72 あなた様も興奮してくれている、ということですよ…。先っぽから溢れてくる
73 の…、おいしいです…♡

74 もっと、味合わせてください…♡

75
76 んっ…れろれろれろ…、んぢゅっ、ちゅっ、はあ…、んれろれろれろ、れろれろ
77 れえ…、んっ…ふう…、ちゅっ、れろれろれろ、ちゅっ、れろれろれろ…、んれ
78 えろれろれろ、んっ…ちゅっ…♡

79
80
81 すごく固くなってきてますね…、おちんちん、びくびくして、舐める度に震え
82 て、ふふっ、なんだか嬉しいです…♡

83
84 あなた様のおちんちんは、どこが一番気持ちいいのでしょうか…。

85 割れ目のある先っぽ…？ ちゅっ…れろれろ…ちゅっ…♡

86 それとも、この首の付け根のようなどころ…？ れろ…れろれろ…んれえろ…♡
87 あるいは、この棒のように固い部分でしょうか…。んっ…あむっ…、んれえろれ
88 ろ…れろれろ…ちゅっ…♡

89
90 んっ…、どれが一番お好みでしたか…？

91 ふふっ…、どれも甲乙つけがたい…という感じでしょうか。

92 それでは、おちんちんを私のお口で啜えて、全部刺激するようにしたら、きっと
93 気持ちいいですよ…。♡

94 確か本で見たのは、そのようにしていたと思いますので…。

95 不慣れなご奉仕で申し訳ありませんが、いっぱい気持ち良くなってくれと、嬉
96 しいです…。♡

97
98 んっ…ちゅっ…、んっ…あむう…、んっ…ふう…、お口の中、おちんちんいっぱ
99 い…、んうう…、あなた様の雄の匂い、たくさん、鼻まで突き抜けてきますう…
100 ♡

101 たしか、このままお口をすばめて、上下に、ですよ…。

104 んっ…じゅぼっ…じゅぼっ…、じゆる…じゆるる…、んう…、んじゅっ…、ぢゅ
105 っ…、ぢゅう…、じゆるる…、じゆるっ…じゆるっ…、じゆるるう…♡

106 んっ…、やり方…、合ってそうですか…？

107 んっ…じゆるるっ…じゆるる…じゆる…、あなた様のおちんちん啜えてると…、ん
108 むっ…じゅぼっ…、じゆるっ…じゆるる…、じゆるっ…、離したくなくなっ
109 まって…、んむっ…じゅぼっ、じゅぼっ…、じゆる…じゆるる…、ずっとお口の
110 中で感じたい…、そんな気分になります…♡

111

112 じゆるっ…、じゆるるっ…じゆるる…じゆるう…、じゅぼっ、じゅぼぼっ…、あ
113 なた様の熱、匂い、気持ちよさそうな反応、全部感じられて…、んっ…じゆるっ
114 …じゆるっ…、じゆるるっ…じゆるるっ…じゆるる…、私…、これ
115 …、フェラチオ…、凄く好きかもしれません…♡

116

117 んっ…じゆるるっ…じゆるるっ…じゆるるっ…、じゅぼっ…じゅぼぼっ…、じゅぞぞお
118 っ…、じゅっ…じゅっ…じゅっ…、んうう…、じゆるる…じゆるるっ…じゆるるっ
119 …、んじゆるるう…、じゅっ…、じゅっ…、じゆるるっ…じゆるるっ…じゆるる…、じ
120 ゆるっ…、じゆるるう…♡

121

122 んっ…はあっ…、夢中になってしまいました…♡

123 んっ…ふう…、あなた様の精液、お口で感じたくて、よだれ垂らしちゃってます
124 …。シスターなのに、こんなにいやらしいメス猫でごめんなさい…。こんなの、
125 あなた様にだけですから…、どうぞお許してください…。

126

127

128 んっ…あむっ…、んじゅっ、じゅっ、じゆるるっ、じゆるるっ、じゅ
129 っ、じゅっ、んぢゅじゅう…、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅぼぼっ、じゅぼっ、じ
130 ゆっぼっ、じゅぼっ、じゆるるっ、じゆるるっ、じゆるるう…♡

131

132 んうう…、精液欲しくて、激しく求めちゃいますう…♡

133 んっ…じゆるるっ、じゆるるっ、じゆるるるっ、あなた様のおちんちん、びくびくして
134 るの、感じますよう…♡

135

136 じゆるるっ、じゆるるっ、じゆるるるっ、じゅぼっ、じゅぼっ、じゆるるるっ…、遠慮な
137 んていりませんから、私のお口に、いっぱい吐き出してくださいね…、あなた様
138 の精液、いっぱい感じたいです…♡

139 んっ…じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるう…、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅぼっ、
140 じゅぼっ、じゅぼぼっ、んうう…、じゅるっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅっ、じゅ
141 っ、じゅらう…、んむっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるっ、じゅるるっ、じゅ
142 るるるっ、じゅるう…、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅぼぼお…♡

143
144
145 おちんちんの震え、すごい…、白いのいっぱいください…、あなた様の全部、私
146 のお口じ…♡
147

148
149 じゅぼっ、じゅぼっ、じゅるるっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるっ、んっ
150 …、んぢゅう…ぢゅっ、ぢゅっ、じゅるるっ、じゅるっ、んじゅるるるっ、じゅ
151 るっ、じゅるっ、じゅるるるっ、はむうん…、じゅぼっ、じゅぼっ、じゅぼっ、
152 じゅぼぼっ、じゅるっ、じゅるっ、じゅるるるっ、じゅるるるっ、んぢゅるるるう
153 うっ…♡

154
155 んううっ…
156 んっ…むうう…、んうう…
157 んっ…んう…んうう…、んっ…むう…んっ…はあ…♡
158

159 すじっ……んなにっぱい…♡
160 口から、溢れちゃいそうです…♡
161

162 んっ…ふう…、んぐっ…ぐっ…んぐっ…じくっ…じくっ…♡
163

164 んっ…ふああ…、喉になっとり絡みついて、とっても濃い…♡
165 んっ…ふう…、はい、全部、飲んでしまいました…♡
166 平気、ですよ…。あなた様がいっぱい出してくれた精液、とっても美味しかった
167 です…♡

168 あなた様を感じられる濃い味で、んっ…はあ…、もっともっと、飲みたいくらい
169 です…♡
170
171
172
173

174 んっ…はあ…んっ…ふう…♡

175

176 あっ…！ す、すみません、興奮してしまっ…。

177 だ、大丈夫です…。初めてだったから身体がびっくりしただけで、これからも精
178 液いただければ、身体が慣れてきて、きっと鎮静剤のようなものになるはずで
179 …。た、多分…。

180

181 あっ…、もうこんな時間…。

182 すみません、もう遅い時間なので、寮長様が見回りに来てしまうかもしれません
183 ん。慌ただしくさせてしまっ…、ごめんなさい…。

184 その…、明日もまた、来ていただけますか…？

185

186 あっ、はい…！ お待ちしています。

187 今日もありがとうございます、おやすみなさい、です…。